

もくじ

特集 **その出し方、あってますか？
ごみの出し方を再確認!** 3

年末年始の主な業務
新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ 6

くらしの窓 9

市・県民税に係る主な税制改正 他

健康・福祉 13

市民病院 救急車の受入、時間外診療を一時制限 他

子育て 16

資格取得等を目指すひとり親家庭を応援 他

スポーツ 18

スポーツ施設利用調整(予約)希望団体募集 他

芸術・文化 19

第11回高校生絵のまち尾道四季展作品展示 他

情報アラカルト 21

男女共同参画講演会/パブリックコメントを募集 他

相談 26

人の動き[11月29日現在] ※()内は前月比。

世帯 64,057世帯 (-71)

人口 男性 63,843人 (-109)
女性 68,231人 (-106)

計 132,074人 (-215)

市内の交通事故 [11月29日現在]

令和3年広島県
交通安全年間スローガン
ゆとりある
心と車間の ディスタンス

件数 122件 (-34)
負傷者 141人 (-47)
死者 6人 (+3)

※()内は前年比。

今月の納期限 12/27(月)

固定資産税・都市計画税④
国民健康保険料⑥
介護保険料⑥
後期高齢者医療保険料⑥

今月の表紙

久保小学校4年生が社会科見学で環境資源リサイクルセンターを訪れ、自転車を使った発電に挑戦しました。

ペダルを回して扇風機を動かし、発電にエネルギーが必要なことを体感しました。

代表電話

尾道市役所 0848-38-9111 百島支所 0848-73-2701
因島総合支所 0845-22-1311 浦崎支所 0848-73-2001
御調支所 0848-76-2111 消防局 0848-55-9120
向島支所 0848-44-0110 尾道市立市民病院 0848-47-1155
瀬戸田支所 0845-27-2211 公立みづき総合病院 0848-76-1111

トピックス—Topics—

消防車写生大会

11月14日、尾道駅前港湾緑地で、第48回消防車写生大会が開催され約580人が参加しました。子ども達は、はしご車・ポンプ車・救急車から好きな車を選び画用紙いっぱい描いていました。



市長表敬訪問/敬称略

「Mrs of the Year 2021」
JAPAN FINAL(全国大会)
(=幕張メッセ=)出場 穴戸みどり

Mrs of the Yearは、“自身にリミットをつくらず、エイジレスにボーダーレスにジェンダーレスにチャレンジをし続ける、愛と感謝にあふれたカッコいい女性になろう”を理念とする日本最大級のミセスコンテスト。

市内在住の穴戸さんは、広島大会にて「Precious部門」(43歳以上の女性)準グランプリを受賞し、広島県代表に選ばれました。おめでとうございます!

広島県東部保健所長より尾道市民の皆さんへ

1.広島県における新型コロナ流行(第5波)の終息

広島県内における新型コロナの流行(第5波)は11月に入ってほぼ終息し、日々の新規感染者は3人程度と少なくなっています。しかし、これまでに広島県全体では2万2千人余りが感染し、200人余りが亡くなりました。亡くなった感染者は高齢者が多いとはいえ、致死率1%という数字は近年の感染症では珍しく高い数字です。幸いなことに新型コロナワクチンの接種により、この致死率を大きく下げることができるようになりましたが、未接種の人については依然として脅威となる感染症です。年末から3回目のワクチン接種が始まりますから、機会があれば、ワクチン接種に努めてください。

2.次の流行(第6波)の兆し

隣県の岡山県では10月末までは他県と同様に減少していた新規感染者数が11月に入って下げ止まり、10人近い新規感染者が一日に発生しています。この傾向は春の流行(第4波)の時にも本格的な流行に先駆けて見られ、その後1カ月ほどして大きな流行となりました。今回も年末から年始にかけての流行の前触れの可能性があります。引き続き警戒が求められます。

広島県東部保健所長 福田 光

■広報おのみち12月号に掲載の行事については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、縮小・中止の可能性があります。事前に主催者にお問い合わせの上、ご参加ください。

その出し方、あってますか？ ごみの出し方を再確認!

資源物

古紙・衣類
容器包装
ペットボトル
乾電池・蛍光管
ライター・傘

天ぷら油置場

普段何気なく捨てているごみの中に、まだ使えるものや資源化できるものは混ざっていませんか？
今回は、限りある資源を無駄にしないために、ご家庭でできる取り組みを、エコレンジャーをご紹介します

岡清掃事務所 ☎0848-48-2900
南部清掃事務所 ☎0845-24-0432

未来の環境のため、求められるごみの減量

このうち、資源化されているものは14.3%にあたる7,639トンです。年間の推移をみると、再資源化される割合は年々減少しており、5年前と比べると1,110トンも減っています。

2050年の脱炭素化社会に向け、今、1人ひとりがごみとどう向き合うかが求められています。

普段何気なく捨てている「ごみ」。尾道市内では、年間約53,569トンものごみが処理されています。(令和2年度)

